

倉敷市中央斎場施設整備事業

審 査 講 評

令和 2 年 12 月 10 日

倉敷市

倉敷市中央斎場施設整備事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（令和2年5月1日公表）に基づき、提案内容の審査を行いましたので、本審査講評のとおり報告します。

目 次

第 1	選定委員会の構成及び開催経過	1
1	選定委員会の構成.....	1
2	選定委員会の開催経過.....	1
第 2	審査の方法	2
1	落札者決定の手順.....	2
2	審査の内容.....	3
第 3	審査の結果	6
1	資格審査.....	6
2	提案審査.....	7
第 4	審査の講評	10
1	各審査項目の講評.....	10
2	審査の総評.....	16

第1 倉敷市中央斎場PFI事業選定委員会の構成及び開催経過

1 選定委員会の構成

倉敷市中央斎場PFI事業選定委員会（以下「選定委員会」という。）の構成は以下のとおりである。

区分	氏名	所属等
委員長	阿部 宏史	岡山大学 名誉教授
副委員長	福濱 嘉宏	岡山県立大学 教授
委員	渋谷 康華	倉敷わかば法律事務所 弁護士
委員	本田 恭子	岡山大学 准教授
委員	山中 高光	倉敷芸術科学大学 教授
委員	三宅 幸夫	倉敷市 環境リサイクル局長
委員	佐藤 慶一	倉敷市 環境政策部長

2 選定委員会の開催経過

選定委員会の開催経過は以下のとおりである。

日程	会議名	主な議題等
令和元年9月2日	第1回選定委員会	委嘱状交付、事業・選定基準概要など
令和元年10月18日	第2回選定委員会	実施方針、選定基準の検討など
令和元年12月25日	第3回選定委員会	選定基準の検討
令和2年2月14日	第4回選定委員会	落札者決定基準、入札公告資料（入札説明書、要求水準書、様式集等）の検討
令和2年10月16日	第5回選定委員会	入札提案書の確認
令和2年11月6日	第6回選定委員会	ヒアリング審査、最優秀提案の選定、審査講評など

第2 審査の方法

1 落札者決定の手順

落札者決定の手順は以下に示すとおりである。

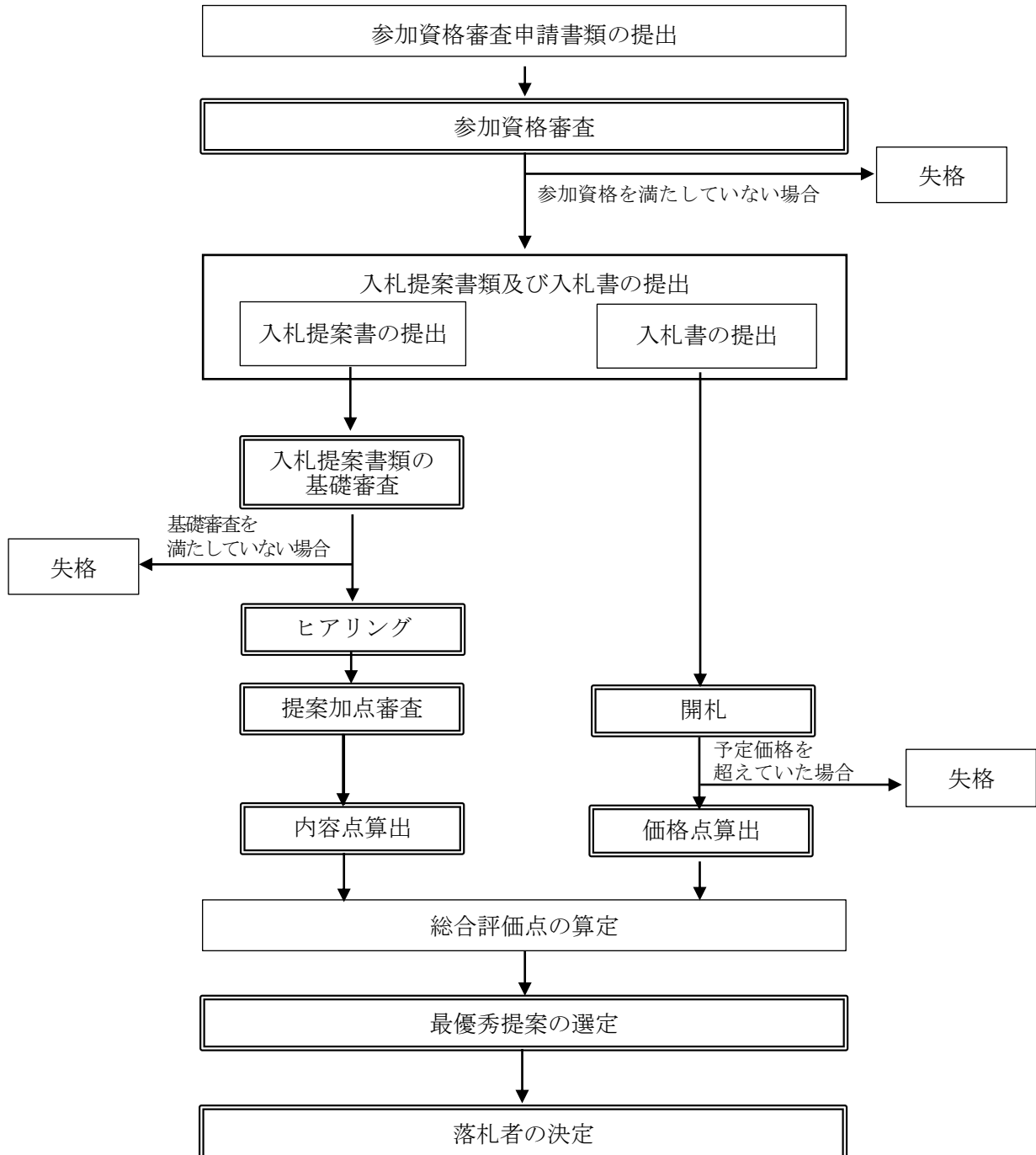


図 落札者決定の手順

2 審査の内容

(1) 参加資格審査

市は、入札参加者から提出された参加資格審査申請書類により、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件の具備を確認する。確認の結果は入札参加者の代表企業に対し通知する。なお、参加資格要件の具備が確認できない場合は失格とする。

(2) 基礎審査

1) 審査方法

市は、入札参加者から提出された入札提案書類が本書に示す基礎審査項目を満たしているか否かを審査する。審査の結果は入札参加者の代表企業に対し通知する。

基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該入札提案書類について提案加点審査を行う。

【基礎審査項目】

審査対象	審査項目
共通事項	<ul style="list-style-type: none">・提出が求められている書類が揃っていること。・入札提案書類全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。・入札提案書類全体について、指定された構成（項目の構成、ページ数制限等）となっていること。
施設整備に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。
維持管理・運営に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。
事業計画に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。・リスク分担について、入札説明書等で示したリスクの分担に関して齟齬がないこと。

(3) 提案加点審査

1) 審査方法

選定委員会は、入札参加者から提案された提案内容について審査を行う。

入札価格以外の提案内容について、下記2)の審査項目及び配点に基づき3)の得点化方法により内容点を算出する。

2) 審査項目及び配点

提案加点審査における審査項目及び配点については、市が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定したものである。

【提案加点審査における審査項目及び配点】

審査項目		配点	対応する様式
1	施設整備業務に関する事項	32点	
	(1)配置計画、動線及び外構計画	(5点)	
	ア 施設配置計画、外構計画、外観	3点	様式 7-1
	イ 外部動線計画	2点	様式 7-2
	(2)施設整備計画	(9点)	
	ア ゾーニング計画、内部動線計画	3点	様式 7-3
	イ 人生の終焉の場所として相応しい斎場計画	3点	様式 7-4
	ウ 施設及び設備のメンテナンス性	1点	様式 7-5
	エ ユニバーサルデザイン	2点	様式 7-6
	(3)火葬炉設備計画	(7点)	
	ア 火葬炉の性能	1点	様式 7-7
	イ 運転操作性、維持管理性、更新性等	2点	様式 7-8
	ウ 安全対策、非常時の対応	2点	様式 7-9
	エ 燃料抑制のための設備計画	2点	様式 7-10
	(4)運営支援設備計画	(3点)	
	ア システムの性能	3点	様式 7-11
	(5)環境への配慮	(2点)	
	ア 省エネルギー、環境負荷低減	2点	様式 7-12
	(6)防災計画	(2点)	
	ア 災害時に対応可能な施設	2点	様式 7-13
	(7)施工計画	(4点)	
	ア 施工計画、施工方法、工事中の配慮事項等	4点	様式 7-14
2	維持管理・運營業務に関する事項	16点	
	(1)実施体制	(3点)	
	ア 実施体制、人員配置等	3点	様式 8-1
	(2)維持管理計画	(6点)	
	ア 建築・設備の維持管理計画	2点	様式 8-2
	イ 火葬炉の維持管理・運営計画	2点	様式 8-3
	ウ 長期の修繕計画や引渡し	2点	様式 8-4
	(3)運営計画	(7点)	
	ア 斎場の運営計画	3点	様式 8-5
	イ 斎場の日常管理計画	2点	様式 8-6
	ウ セルフモニタリングの実施	2点	様式 8-7
3	事業計画に関する事項	12点	
	(1)基本方針等	(2点)	
	ア 実施体制等	2点	様式 9-1
	(2)長期収支の安定性	(2点)	
	ア 資金調達計画・長期収支計画	1点	様式 9-2
	イ 財務の健全性・安定性	1点	
	(3)リスク管理	(2点)	
	ア リスク管理(方針・体制、潜在的リスクへの対応等)、保険の付保等	2点	様式 9-8
	(4)地域や社会への貢献	(6点)	
	ア 地域企業の活用	2点	様式 9-9
	イ 地域企業への発注額	2点	
	ウ 地元雇用等地域経済への貢献	2点	
合計		60点	—

3) 提案内容の得点化方法

選定委員会は、提案内容について、上記2)の審査項目ごとに評価に応じて得点を付与する。

提案内容の審査にあたり選定委員会は、次の表に示す5段階評価に基づき各項目の評価を行う。選定委員会の各委員が個別に評価を行い、その平均値を得点として付与する。平均値を算定した結果小数点以下が発生した場合は、小数点以下第3位を四捨五入する。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該審査項目について特に秀でて優れている。	配点×1.00
B	AとCの中間程度。	配点×0.75
C	当該審査項目について優れている。	配点×0.50
D	CとEの中間程度。	配点×0.25
E	当該審査項目について優れていると認められない。	配点×0.00

(4) 開札

1) 入札価格の確認

開札を行い、入札書に記載された金額が、入札説明書に規定する予定価格の金額の範囲内であることを確認する。開札の結果、入札書に記載された金額が、入札説明書に規定する予定価格の金額を超える場合は失格とする。

2) 入札価格の得点化方法

入札書に記載された金額が、予定価格の範囲内の場合、下記の方法により価格点を算定する。

$$\text{価格点} = \text{満点の点数 (40点)} \times \{1 - \alpha (\text{入札価格} / \text{予定価格} - n / 100)^2\}$$

$\alpha = 10$ 、 $n = 72$ とする。

(5) 総合評価点の算定

下記の方法により、入札参加者の提出した入札提案書類について総合評価を行う。

総合評価の結果、当該総合評価点が最も高い提案を行った入札参加者の提案を最優秀提案として選定する。なお、総合評価点が同点の場合は、内容点が最も高い入札参加者の提案を最優秀提案とする。内容点も同点の場合は、当該入札参加者によるくじ引きで最優秀提案を選定する。

(総合評価点の算定式)

$$\text{総合評価点 (100点満点)} = \text{内容点 (60点満点)} + \text{価格点 (40点満点)}$$

第3 審査の結果

1 資格審査

市は、令和2年6月24日に提出された参加表明書及び参加資格審査申請書等の書類をもとに、入札参加者が満たすべき参加資格要件について確認し、令和2年7月3日付で参加資格審査結果（参加資格があるものと認めたもの）を入札参加者各グループの代表企業に通知した。

なお、参加資格審査結果の通知時に、受付番号等として「くすのきグループ」、「カワセミグループ」との名称を各グループに付与した。

<参加グループ一覧>

入札参加者	参加区分	企業名	役割
くすのきグループ	代表企業	東亜建設工業株式会社	建設企業
	構成員 (代表企業を除く)	中央建設株式会社 株式会社カザケン 富士建設工業株式会社 有限会社アーバンホール 株式会社サントップ	建設企業 建設企業 火葬炉企業、火葬炉運営企業、 運営企業 運営企業 建築・設備維持管理企業、 運営企業
	協力企業	株式会社梓設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 日立キャピタル株式会社	設計企業、工事監理企業 設計企業、工事監理企業 その他企業（ファイナンシャル アドバイザー）
カワセミグループ	代表企業	西松建設株式会社	建設企業
	構成員 (代表企業を除く)	目黒建設株式会社 株式会社九電工 株式会社宮本工業所 株式会社合人社計画研究所 株式会社五輪	建設企業 建設企業 火葬炉企業、火葬炉運営企業 建築・設備維持管理企業、 運営企業 運営企業、火葬炉運営企業
	協力企業	株式会社山下設計 株式会社丸川建築設計事務所 老龍園緑化株式会社	設計企業、工事監理企業 設計企業、工事監理企業 運営企業

2 提案審査

(1) 入札提案書類の確認

市は、令和2年9月10日に入札書及び入札提案書類の受付を行い、入札参加者に求めた書類がすべて揃っていることを確認した。

(2) 基礎審査

市は、入札参加者各グループから提出された入札提案書類が、入札説明書等に記載する全ての基礎審査項目を満たしていることを確認した。

以上から、入札参加者2グループとも要件を満たすことを確認し、基礎審査を合格とした。

(3) 提案加点審査

選定委員会は、入札参加者の提出した入札提案書類の記載内容を明確にするために、入札参加者2グループに対して提案内容についてのヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）を令和2年11月6日に実施した。

その後、選定委員会にて十分な議論を行った上で、落札者決定基準に基づき各委員が5段階評価を行い、その平均値を得点として付与した。

提案加点審査の結果は次の表に示すとおりである。なお、入札参加者各グループの提案について選定委員会が評価した事項は本講評の第4の1に示す。

□提案加点審査結果

審査項目	配点	くすのき	カワセミ
1 施設整備業務に関する事項	32	18.88	20.95
(1)配置計画、動線及び外構計画	(5)	(2.29)	(3.40)
ア 施設配置計画、外構計画、外観	3	1.50	2.04
イ 外部動線計画	2	0.79	1.36
(2)施設整備計画	(9)	(4.82)	(5.64)
ア ゾーニング計画、内部動線計画	3	1.61	1.82
イ 人生の終焉の場所として相応しい斎場計画	3	1.50	1.93
ウ 施設及び設備のメンテナンス性	1	0.50	0.68
エ ユニバーサルデザイン	2	1.21	1.21
(3)火葬炉設備計画	(7)	(4.24)	(4.24)
ア 火葬炉の性能	1	0.61	0.61
イ 運転操作性、維持管理性、更新性等	2	1.21	1.21
ウ 安全対策、非常時の対応	2	1.21	1.21
エ 燃料抑制のための設備計画	2	1.21	1.21
(4)運営支援設備計画	(3)	(2.89)	(2.89)
ア システムの性能	3	2.89	2.89
(5)環境への配慮	(2)	(1.21)	(1.21)
ア 省エネルギー、環境負荷低減	2	1.21	1.21
(6)防災計画	(2)	(1.29)	(1.14)
ア 災害時に対応可能な施設	2	1.29	1.14
(7)施工計画	(4)	(2.14)	(2.43)
ア 施工計画、施工方法、工事中の配慮事項等	4	2.14	2.43
2 維持管理・運営業務に関する事項	16	9.28	12.67
(1)実施体制	(3)	(1.50)	(2.89)
ア 実施体制、人員配置等	3	1.50	2.89
(2)維持管理計画	(6)	(3.64)	(4.28)
ア 建築・設備の維持管理計画	2	1.07	1.43
イ 火葬炉の維持管理・運営計画	2	1.50	1.64
ウ 長期の修繕計画や引渡し	2	1.07	1.21
(3)運営計画	(7)	(4.14)	(5.50)
ア 斎場の運営計画	3	1.71	1.93
イ 斎場の日常管理計画	2	0.79	1.93
ウ セルフモニタリングの実施	2	1.64	1.64
3 事業計画に関する事項	12	7.67	7.10
(1)基本方針等	(2)	(1.21)	(1.07)
ア 実施体制等	2	1.21	1.07
(2)長期収支の安定性	(2)	(1.39)	(1.39)
ア 資金調達計画・長期収支計画	1	0.68	0.64
イ 財務の健全性・安定性	1	0.71	0.75
(3)リスク管理	(2)	(1.07)	(1.21)
ア リスク管理（方針・体制、潜在的リスクへの対応等）、保険の付保等	2	1.07	1.21
(4)地域や社会への貢献	(6)	(4.00)	(3.43)
ア 地域企業の活用	2	1.29	0.93
イ 地域企業への発注額	2	1.50	1.00
ウ 地元雇用等地域経済への貢献	2	1.21	1.50
内容点（合計）	60	35.83	40.72

2) 入札価格の得点化

令和2年11月6日に2グループの開札を行い、入札価格が予定価格を超えていないことを確認した。

その上で、入札参加者2グループの入札価格について、落札者決定基準に示す算出方法に基づき価格点を下記のとおり算出した。結果は以下のとおり。

□入札価格の得点化結果

	くすのきグループ	カワセミグループ
入札価格	7,043,601,128 円	6,997,560,000 円
計算式	価格点 = 満点の点数 (40 点) × {1 - α (入札価格 / 予定価格 - n / 100) ² } α = 10、n = 72 とする。	
価格点	27.06	27.89

(4) 総合評価及び最優秀提案の選定

提案加点審査により算出された内容点に価格点を加算し、総合評価点とした。

$$\text{総合評価点} = \text{内容点} + \text{価格点}$$

□総合評価結果

	くすのきグループ	カワセミグループ
内容点	35.83	40.72
価格点	27.06	27.89
総合評価点	62.89	68.61

以上により、総合評価点が最も高いカワセミグループの提案が、最優秀提案となった。

第4 審査の講評

1 各審査項目の講評

選定委員会による提案加点審査における審査講評を以下に示す。

(1) 施設整備業務に関する事項 (32点)

審査項目	審査講評
(1) 配置計画、動線及び外構計画 (5点)	
ア 施設配置計画、外構計画、外観 (3点)	<p>両グループとも、適切な配置計画、動線計画、敷地条件に配慮した合理的な造成計画及び排水計画について提案が示された。また、外観についても、それぞれ斎場にふさわしく周囲の景観と調和した独自の提案が示された。</p> <p>カワセミグループは、既存施設の利用者等に配慮した駐車場の配置計画が評価された。</p>
イ 外部動線計画 (2点)	<p>両グループとも、利用者の利便性や安全性に配慮し、適切なアプローチ計画、車両動線の分離が提案された。</p> <p>くすのきグループは、施設前のゆとりある車寄せについて評価された。</p> <p>カワセミグループは、ゆとりある車寄せのほか、各利用者駐車場の配置や、駐車場から施設への動線が明快でわかりやすく、利便性が高い点が高く評価された。</p>
(2) 施設整備計画 (9点)	
ア ゾーニング計画、内部動線計画 (3点)	<p>両グループとも、スムーズな葬送の実施に配慮した、明快な配置計画、動線計画について提案が示された。また、利用者の利便性や効率的な管理に配慮した具体的な提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、一般会葬とペット会葬に配慮した受付窓口やゾーニング等の利用者の利便性や効率的な管理に配慮している点が評価された。</p> <p>カワセミグループは、台車収納スペースの確保や管理作業の効率化に配慮した内部動線が高く評価された。</p>
イ 人生の終焉の場所として相応しい斎場計画 (3点)	<p>両グループとも、斎場にふさわしい意匠や効果的な照明計画のほか、空間の工夫により、眺望や利用者の利便性、プライバシーの確保に配慮した提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、待合室について多様な利用ニーズを踏まえた提案が評価された。</p> <p>カワセミグループは、管理面での機能強化を図るとともにアルコーブの空間構成を活用し、プライバシーの確保が効果的に行われる提案が高く評価された。</p>

審査項目		審査講評
ウ 施設及び設備のメンテナンス性 (1点)	<p>両グループとも、施設計画や設備、材料の選択について、メンテナンスの容易性や経済性等を踏まえるとともに、修繕・更新時を考慮した効果的な提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、植栽計画について独自の提案が示されたが、維持管理や機能面での確実性に関する担保が確保できなかったため高く評価されなかった。</p> <p>カワセミグループは、日常のメンテナンスや火葬炉更新にあたっての動線について具体的な提案が評価された。</p>	
エ ユニバーサルデザイン (2点)	<p>両グループとも、高齢者や障がい者の利便性に配慮した施設や設備について具体的な提案が示された点が評価された。</p>	
(3) 火葬炉設備計画 (7点)		
ア 火葬炉の性能 (1点)	<p>両グループとも、独自技術により燃焼効率を高めた高性能な火葬炉が提案されているとともに、要求水準より厳しい独自の管理目標や基準を設け、ばい煙・臭気の除去を確実に行う技術が採用されている点が評価された。</p>	
イ 運転操作性、維持管理性、更新性等 (2点)	<p>両グループとも、火葬炉の構造・配置計画、火葬炉機器の仕様等について、維持管理や更新を踏まえた適切な提案が示された点が評価された。</p>	
ウ 安全対策、非常時の対応 (2点)	<p>両グループとも、災害・故障時にあたり、エマージェンシー回路や炉内温度の調整火葬が継続できるシステムのほか、排気について環境基準を満足するための適切な提案が示されている点が評価された。</p>	
ウ 燃料抑制のための設備計画 (2点)	<p>両グループとも、火葬燃料や電気使用量の削減方策について具体的に提案されている点が評価された。</p>	
(4) 運営支援設備計画 (3点)		
ア システムの性能 (3点)	<p>両グループとも、リアルタイムの予約を可能とし、市職員、葬祭業者双方に利便性の高い予約システムとともに、高い情報セキュリティ対策や確実なバックアップ体制が提案されている点が高く評価された。また、斎場の利用特性(入場から退場まで)を踏まえ、利用者へのサービス向上にも寄与する運営システムが提案されている点も高く評価された。</p>	
(5) 環境への配慮 (2点)		
ア 省エネルギー、環境負荷低減	<p>両グループとも、高効率な設備の採用や建築的手法の活用により、効果的な環境負荷低減策等が提案されている点が評価さ</p>	

審査項目	審査講評
(2点)	れた。
(6) 防災計画 (2点)	
ア 災害時に対応可能な施設 (2点)	両グループとも、被災時においても施設機能を維持する必要性を踏まえ、施設の耐震性や安全対策、非常用発電や給排水の容量等について具体的に計画されている点が評価された。 くすのきグループは、非常用発電や給排水の容量等について要求水準以上の余裕のある計画としている点が評価された。
(7) 施工計画 (4点)	
ア 施工計画、施工方法、工事中の配慮事項等 (4点)	両グループとも、場外への搬出土砂の回避軽減に配慮した造成計画や排水計画について、合理的な提案が示されている。 カワセミグループは、BIM を利用した見える化による工事関係者間の意思疎通への活用が評価された。

(2) 維持管理・運営業務に関する事項 (16点)

審査項目	審査講評
(1) 実施体制 (3点)	
ア 実施体制、人員配置等 (3点)	両グループとも、経験のある責任者を配置し、通夜時や火葬集中時においても対応可能な人員体制のほか、将来の需要ピーク時への増員について具体的に提案された。 くすのきグループは、経験豊富な責任者のほか、全体を通して具体的な提案があり評価された。カワセミグループは、経験豊富な責任者のほか、配置人数や雇用人数について余裕のある提案が示されたことが高く評価された。
(2) 維持管理計画 (6点)	
ア 建築・設備の維持管理計画 (2点)	両グループとも、専門技術者による段階的な点検のほか、良好な施設水準を保つための実施内容が提案された。 くすのきグループは、点検等の詳細な実施内容のほか、一部要求水準以上の提案が評価された。カワセミグループは、専門技術者による複層的な点検方法や情報共通ツールを活かした具体的な取組みが高く評価された。
イ 火葬炉の維持管理計画・運営計画 (2点)	両グループとも、火葬炉運営企業と火葬炉専門技術者が連携し、適切に保守管理を行う体制が提案された。詳細な点検計画のほか、独自の維持管理計画により厳しい排ガス基準値を維持し、異常時にも遠隔システムにより迅速に対応可能とする具体的な提案が示された。また、残骨灰・集じん灰については、環境面、心情に配慮した適切な処理方法が提案された。 くすのきグループは、長寿命化の方策と実績と経験に基づく具体的な提案が評価された。カワセミグループは、独自システ

審査項目		審査講評
		ムにより効率的に長寿命化を図る具体的な提案が高く評価された。
ウ	長期の修繕計画や引渡し (2点)	両グループとも、長期修繕計画について具体的な更新計画の提案が示されるとともに、業務の引継ぎについて要求水準以上の余裕をもったスケジュールやサポートの提案が示された。 くすのきグループは、独自の考え方による修繕計画やスムーズな業務引継ぎへの提案が評価された。カワセミグループは、独自の考え方による修繕計画のほか、独自システムを利用した効果的な計画立案や引継ぎへの提案が高く評価された。
(3) 運営計画 (7点)		
ア	斎場の運営計画 (3点)	両グループとも、利用者の心情やプライバシー確保に十分配慮した運営方法が提案されるとともに、収骨や待合室について民間ならではのサービスが提案された。また、予約受付や取り違え、トラブル防止について、事業者のノウハウを踏まえた具体的な提案が示された。 くすのきグループは、直葬・家族葬への対応が評価された。カワセミグループは、案内カウンターの設置や具体的な研修計画が高く評価された。
イ	斎場の日常管理計画 (2点)	両グループとも、清掃、植栽管理、衛生管理について施設の快適性や美観を踏まえた具体的な内容が提案されるとともに、警備業務は、巡回警備と機械警備を組合せた迅速な対応が提案された。 カワセミグループは、効果的な機器の導入や管理目標設定による具体的な実施提案が高く評価された。
ウ	セルフモニタリングの実施 (2点)	両グループとも、複層的なモニタリングの実施について具体的な提案が示されるとともに、葬祭業者を含む利用者の意見や要望を把握するための方策が具体的に提案された。 くすのきグループは、セルフモニタリングについて第三者の活用が高く評価された。カワセミグループは、火葬場を熟知したモニタリング実施者の選任と実施回数が高く評価された。

(3) 事業計画に関する事項 (12点)

審査項目		審査講評
(1) 基本方針等 (2点)		
ア	実施体制等 (2点)	両グループとも、市の方針を踏まえた方針設定、事業実施のための各企業の役割・関係性について具体的な提案が示されるとともに、明確な指揮命令系統について提案された。 くすのきグループは、PFI特有の資金調達等を踏まえた企業構成が高く評価された。カワセミグループは、本事業を適切

審査項目	審査講評
	に実施する企業構成が評価された。
(2) 長期収支の安定性 (2点)	
ア 資金調達計画・長期 収支計画 (1点)	<p>両グループとも、出資計画、金融機関による融資について適切な提案が示された。また、具体的な配当計画、健全な長期収支計画について適切な提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、金融機関からの融資確約書の取得、金融機関からの評価書の取得が評価された。カワセミグループは、金融機関からの融資確約書の取得、第三者による収支計画の確認が評価された。</p>
イ 財務の健全性・安定 性 (1点)	<p>両グループとも、資金管理方法、財務モニタリング方法、資金不足発生時の対応策について適切な提案が示された。</p> <p>両グループとも、第三者含む複数者による財務モニタリング、不測時の融資枠確保などが評価された。</p>
(3) リスク管理 (2点)	
ア リスク管理 (方針・ 体制、潜在的リスク への対応等)、保険の 付保等 (2点)	<p>両グループとも、事業の特性を踏まえたリスクの認識及びその対応策について適切かつ具体的な提案が示されているとともに、要求水準を超える保険の付保についての提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、サービス品質低下予防策、バックアップ企業の確保、要求水準以上の保険付保が評価された。カワセミグループは、具体的なリスク管理体制、バックアップ企業の確保、要求水準以上の保険付保が評価された。</p>
(4) 地域や社会への貢献 (6点)	
ア 地域企業の活用 (2点)	<p>両グループとも、グループ構成に地域企業が含まれた提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、運営企業に複数の地位企業が参画し、運営・維持管理の複数業務に関与することが高く評価された。カワセミグループは、運営企業に地域企業を含むことが評価された。</p>
イ 地域企業への発注額 (2点)	<p>両グループとも、地域経済への貢献として、地域企業へ一定金額を発注する提案が示された。</p> <p>くすのきグループは、地域企業に整備期間、運営期間ともに多くの発注を行うことが高く評価された。カワセミグループは、地域企業に整備期間に多くの発注を行うことが評価された。</p>
ウ 地元雇用等地域経済	<p>両グループとも、地域経済の貢献として、地元雇用を行う具</p>

審査項目	審査講評
への貢献 (2点)	<p>体的な提案が示されるとともに地域産材の使用に関する具体的な提案も示された。</p> <p>くすのきグループは、雇用人員のうち多くを地元雇用する計画について評価された。カワセミグループは、雇用人員が多い中で全て地元雇用とすることを目指すことが高く評価された。</p>

2 審査の総評

本事業は、倉敷市中央斎場の再整備における施設整備及び維持管理・運営を行うことを目的とするものである。民間事業者が施設整備及び維持管理・運営を一括かつ長期的に実施させることにより、民間事業者の創意工夫が発揮され、財政負担の削減及び公共サービス水準の向上等が期待されることから、PFI方式での実施となった。

今回、複数の企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから入札及び提案があった。いずれのグループの提案も、これまでの各企業の実績をもとにした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、市の要求水準を大きく上回る提案内容が示されていた。提案書類の作成における努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申しあげたい。

選定委員会では、落札者決定基準に則り、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った。審査の結果、西松建設株式会社を代表企業とする西松建設（カワセミ）グループの提案を最優秀提案として選定した。当該グループからは、運営支援設備計画、維持管理・運營業務の実施体制、火葬炉の維持管理・運営計画、斎場の日常管理、セルフモニタリング、財務の健全性・安定性の事項をはじめ、数多くの優れた提案があった。

今後、西松建設（カワセミ）グループは、市と事業契約を締結するための協議を行うこととなるが、市の要求事項のみならず、提案された内容を確実に履行することが求められる。そのうえで、本事業をさらに充実したものとし、事業期間にわたって、安定的な施設の稼働や良質なサービスの提供ができるように、西松建設（カワセミ）グループに対しては次の事項に留意して事業を実施されることを望みたい。

<配慮・要望事項>

- 駐車場の入り口部分について、一般車両が入口から駐車場に入る際に急カーブとなる可能性があるため、車両動線及び歩行者動線の安全性に配慮した計画を行うこと。
- 東側駐車場の庇がやや短いため、利用者の利便性を踏まえて適切な設定を行うこと。
- 1階に女性トイレの数が限られている。また2階のキッズスペースと授乳室が離れている。女性利用者、子供を持つ利用者の視点を適切に捉え、誰もが利用しやすい配置計画を行うこと。
- 各部屋の配置等に関して、利用者の利便性はもちろんのこと、心情にも配慮した配置となるよう市と協議確認を行うこと。
- 地域への発注については、提案された発注金額以上の地域企業への発注を期待する。
- 地元雇用について、雇用人員の100%地元雇用を達成すること。

最後に、事業期間を通じて市と西松建設（カワセミ）グループが良きパートナーとなり、地域との信頼関係を築きながら、本事業を計画的かつ適切に推進することを強く希望する。

また、上記の配慮・要望事項について、入札及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために市と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待する。